小田急百貨店の環境活動

小田急百貨店は、「企業活動を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、
百貨店業の自覚と責任を心がけ、環境保全に配慮し、地球環境にやさしい生活提案を行い、
環境に負担をかけない豊かな社会生活の実現に貢献する企業活動を行います。

環境方針

1 ▶「地球」・「ひと」にやさしい百貨店を目指し、全社を挙げて様々な環境対策を推進し、環境保全に努めます。
2 ▶販売及びサービス等全ての事業活動において、環境に与える影響の継続的改善を図り、お客さまに信頼していただける活動を推進します。
3 ▶環境関連の法規制・条例・業界の自主規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。また、必要に応 じて管理基準を定め、汚染の予防に努めます。
4 ▶環境に配慮した商品・サービスの提供、省エネ・省資源、廃棄物の削減、リサイクル等の目的・目標を定めて実 行します。また、定期的に結果を見直し、環境影響の軽減に努めます。
5 ▶この環境方針は、全従業員及び小田急百貨店の活動に携わる全ての人に、環境教育及び啓発活動を通じて周知徹 底するとともに、社外にも公開します。

株式会社 小田急百貨店
代表取締役社長　中島 良和

環境に配慮した商品の取扱い

小田急百貨店では、以下の考え方に基づき、環境に配慮した商品をお取扱いしています。

▌環境に配慮した商品の考え方

① 環境への負荷が低い素材を使用したもの
② 使用時に省エネ・省資源の効果があるもの
③ 廃棄物になりにくいもの
④ リサイクルしやすいもの

省エネ・省資源

▌町田駅ビルにおける省エネ対策

2018 年に全館リニューアルを実施し、ショップ内、共用通路とも照明器具を LED に更新、リニューアル前と比較して約 7 %の電力削減を実現しました。

▲町田店 2 階ファッションウォーク
「アミューズ ボーテ」

▌容器包装削減に向けた取り組み

・ スマートラッピングの推進

百貨店業界統一キャンペーンを通して、毎月５日を「スマートラッピングの日」と定め、ポスター・POP・お客さまへのお声がけにより、容器包装削減を推進しています。

・ 当社オリジナルの全お買い物袋有料化

２０２１年３月１日より小田急百貨店全館で提供する当社オリジナルのプラスチック製、並びに紙製のお買い物袋を全て有料化するとともに環境に配慮したした素材へと順次切り替えてまいります。
また、売上金の一部を寄付することで、環境保全活動推進に寄与してまいります。

・ お買い物時のマイバッグ活用を推奨

新宿店の各売場と「小田急オンラインショッピング」においてライフスタイルに合わせた様々なマイバッグを販売しており、マイバッグでお買い物を楽しむ、環境に配慮した新習慣を推進しています。

廃棄物の削減

・ 衣料品ほか回収キャンペーン

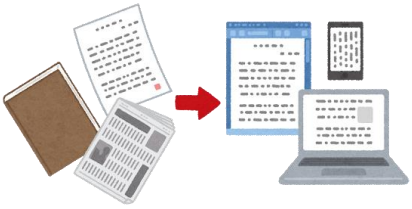
お取引先様と協業して衣料品等各種引き取りキャンペーンを定期的に開催しています。

2019 年 5 月町田店開催
「コスメ下取りキャンペーン」

2020 年 10 月新宿店開催
「衣料品引き取り
ワールドエコロモキャンペーン」

・ ペーパーレスの取り組み

ワークフローのシステムを活用し、稟議の電子化を推進しています。
このペーパーレス化により、紙コストの削減とともに、省スペース化、業務の効率化を実現しています。



リサイクル

▌食品廃棄物リサイクル（日本フードエコロジーセンター）

食品廃棄物は「株式会社日本フードエコロジーセンター」で豚の飼料にすることにより、食品リサイクルを行っています。 各店舗から出された食品廃棄物を回収し、日本フードエコロジーセンターへ運搬、異物除去や加熱殺菌を行い、リキッド飼料化します。この飼料で育てられた養豚から豚肉を製品化するなど、循環型社会の実現に取り組んでいます。

1 回収

各店舗から出された食品廃棄物を専用ボックスで回収し、日本フードエコロジーセンターへ運搬します。

2 飼料化

異物混入がないか入念にチェックし、破砕機に投入。殺菌消毒し、発酵タンクでリキッド飼料に加工します。

3 供給

豚の飼料として活用することで、安全で健康的な豚肉を生産することができます。

4 製品化

この飼料で育った豚を使ったハム、焼き豚等を 製品化します。

▌ハンガーリサイクル（百貨店共通ハンガーシステム）

1997 年よりアパレル業界と物流の効率化、並びに廃棄ハンガー削減をに向け、「百貨店共通ハンガー」を導入しています。「百貨店共通ハンガー」は百貨店にて使用後回収され、洗浄・メンテナンスを終えた後に再びアパレルメーカーに納品される「循環型ハンガー」となっています。